

「幸福」

幸福とは、何を持っているか、何をすることができるかということではない。
心の中から自然に湧いてくる小さな希望を感じること、そしてその喜びを
そばにいる人と分かち合うことができること。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

草花が一斉に芽吹き、万物の躍動を実感する季節となりました。新年度が始まり
子どもたちの活気あふれる歓声が響き渡っています。周囲を見渡すとピンクや黄色
赤色などの花が咲き触れたり匂いを嗅いでみたり、同じように見える葉っぱの感触が
違う事に気付いたり五感を通し色々なことを感じ、心が動く様な体験をしています。

閉塞感を感じる現代、どうしても不安や不満を強く感じてしまっていますが、生きていく中
で幸せになりたい、幸福でいたいと願ってしまいます。人によって幸せを感じる瞬間は
異なりますが、人や物事との出会いや日常での楽しいこと嬉しいこと、感動したことな
ど心が満たされた時、その気持ちを幸せだと感じ表現することが多いと思います。そ
して、内なる幸せを感じるには、感性を研ぎ澄ませることも必要になります。空を見上げ
その美しさに魅せられたり、心を許した人との何気ない時間を過ごし笑い合ったり日々
の生活の中の出来事を当たり前と思わずに大切に気付くことが幸せになる第1歩
なのではないでしょうか。子どもたちにも、すぐそばにある小さな幸せを感じられるよう心
豊かに、また喜びや嬉しさを身近な人と分かち合えるような保育を行っていきたく
思います。

今年度も、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

4月聖句
わたしは良い羊飼いである。

ヨハネによる福音書 10章 14節

4月主題

「はじめまして」0歳

- ・神さまからいただいた存在として大切にされる。
- ・新しい環境のなかで友だちや保育者に出会う。
- ・一人ひとりの生活リズムや発達段階に合わせて、丁寧な関わりを持つ

1・2歳

- ・保育者の祈りや賛美する姿を通して、神様に出会う。
- ・新しい環境や友だちに出会い、親しみを持つ。
- ・受け入れられていること感じ、安心する。

～子どもたちの姿～

暖かい陽気と共に、今年度がスタートしました。子どもたちは、クラスが変わりワクワクした表情を
浮かべ「お姉さんになったよ」「空組になったの」と身支度をしたり、憧れだった椅子に座りちょっぴり
誇らしげです。年下の友だちに対して「こっちだよ」と呼んだり、靴を履かせてあげようしたりと、行動
にも変化が見られ、頼もしく感じます。異年齢での活動も多く互いに刺激し合い遊びや生活の幅を
広げています。子どもたちのそんな姿を見ながら、思いやりの心や感謝の気持ちを子どもたちに伝
えながら、豊かな心を育てていきたいと思えます。今年度も保育へのご理解、ご協力をよろしくお願
いいたします。



【4月の讚美歌】

つくしのように

【4月のうた】

チューリップ
ちょうちょう
あくしゅでこんにちは



4月の予定表	月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3 入園式	4
6	7	8	9	10 身体測定	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20 避難訓練	21	22	23	24 誕生日会	25	26	
27	28	29 昭和の日	30 クレイシュ通信				
<small>◎靴下や着替えなど、持ち物全てに名前の記入をお願いいたします。 ◎毎日の食事や睡眠について、連絡帳の項目ごとに記入をお願いいたします。 ◎新型コロナウイルス感染症予防対策にご協力頂き、ありがとうございます。引き続き来園時の検温、マスク着用、手指消毒の徹底をお願いいたします。</small>							

◎新型